

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しています。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しています。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けています。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,314	19,197
受取手形及び売掛金	※2 42,017	※2 10,994
商品及び製品	250	512
仕掛品	2,041	3,389
原材料及び貯蔵品	52	69
その他	※2 5,076	※2 7,173
貸倒引当金	△41	△37
流動資産合計	72,709	41,299
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,775	7,511
その他	4,376	4,121
有形固定資産合計	11,151	11,632
無形固定資産		
のれん	2,177	1,983
その他	2,363	2,519
無形固定資産合計	4,540	4,502
投資その他の資産		
投資有価証券	11,399	11,778
その他	7,340	6,388
貸倒引当金	△514	△168
投資その他の資産合計	18,226	17,998
固定資産合計	33,918	34,133
資産合計	106,628	75,433
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 36,604	8,889
1年内償還予定の社債	300	—
短期借入金	521	564
1年内返済予定の長期借入金	122	82
未払法人税等	3,931	110
賞与引当金	301	43
役員賞与引当金	230	180
返品調整引当金	28	26
その他	5,326	5,963
流動負債合計	47,365	15,860
固定負債		
長期借入金	109	64
退職給付引当金	531	595
その他	3,522	3,619
固定負債合計	4,164	4,279
負債合計	51,529	20,140

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,948	7,948
資本剰余金	7,994	7,994
利益剰余金	40,835	40,405
自己株式	△1,821	△1,821
株主資本合計	54,957	54,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△397	348
為替換算調整勘定	△1	3
その他の包括利益累計額合計	△398	351
少数株主持分	539	415
純資産合計	55,098	55,293
負債純資産合計	106,628	75,433

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	47,745	54,204
売上原価	32,682	34,847
売上総利益	15,063	19,357
販売費及び一般管理費	16,219	17,320
営業利益又は営業損失(△)	△1,156	2,036
営業外収益		
受取利息	11	26
受取配当金	180	186
仕入割引	132	119
投資有価証券運用益	59	169
その他	262	182
営業外収益合計	647	685
営業外費用		
支払利息	13	8
為替差損	3	18
持分法による投資損失	112	344
出資金償却	310	228
その他	26	54
営業外費用合計	466	655
経常利益又は経常損失(△)	△975	2,066
特別利益		
投資有価証券売却益	0	28
関係会社株式売却益	7	—
その他	0	1
特別利益合計	8	29
特別損失		
固定資産除却損	42	16
減損損失	140	17
訴訟関連損失	8	15
その他	24	5
特別損失合計	215	55
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,182	2,040
法人税等	△446	797
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△736	1,243
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△59	16
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△677	1,227

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△736	1,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△466	747
為替換算調整勘定	△0	5
その他の包括利益合計	△466	752
四半期包括利益	△1,202	1,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,143	1,976
少数株主に係る四半期包括利益	△59	19

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,182	2,040
減価償却費	1,621	1,581
減損損失	140	17
のれん償却額	241	236
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△50	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△281	△257
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	△50
退職給付引当金の増減額(△は減少)	54	63
受取利息及び受取配当金	△192	△213
持分法による投資損益(△は益)	112	344
支払利息	13	8
固定資産除却損	42	16
売上債権の増減額(△は増加)	19,351	31,887
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,253	△1,628
商品化権前渡金の増減額(△は増加)	△516	△120
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,798	△27,728
その他	△1,002	△88
小計	△759	6,105
利息及び配当金の受取額	208	232
利息の支払額	△15	△9
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	819	△5,929
営業活動によるキャッシュ・フロー	253	398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,114	△1,236
有形固定資産の売却による収入	5	4
無形固定資産の取得による支出	△1,173	△1,061
投資有価証券の取得による支出	△100	—
出資金の払込による支出	△130	△146
貸付けによる支出	△1,441	△430
関係会社株式の取得による支出	△10	△151
関係会社株式の売却による収入	70	—
その他	△256	561
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,151	△2,460

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	176	43
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△109	△84
社債の償還による支出	△608	△300
配当金の支払額	△1,648	△1,651
その他	△7	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,097	△2,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,998	△4,100
現金及び現金同等物の期首残高	18,284	23,309
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△10
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 12,285	※ 19,197

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、K-1インターナショナル(株)は重要性が乏しくなったため、連結の範囲から除外しています。

当第3四半期連結会計期間より、(株)EXPRESSは当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しています。

当第3四半期連結会計期間より、重要性が増したため、第2四半期連結会計期間に新規設立した(株)XAAXを連結の範囲に含めています。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間より、重要性が増したため、ヘアグランズ(株)を持分法の適用範囲に含めています。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 偶発債務

当社は遊技機メーカーからパチンコホールへの遊技機販売を代行する際に、その遊技機代金について保証を行っています。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
株式会社ガイア	6百万円	145百万円
株式会社一六商事	73百万円	79百万円
株式会社ニイミ	65百万円	50百万円
株式会社正栄プロジェクト	7百万円	34百万円
有限会社大成観光	32百万円	34百万円
有限会社ビッグ・ショット	31百万円	31百万円
ヴィームスタジアム株式会社	99百万円	23百万円
メイプラネット株式会社	7百万円	17百万円
株式会社コロナ	48百万円	16百万円
株式会社アーク	-百万円	16百万円
その他	899百万円	799百万円
計	1,272百万円	1,250百万円

※2. 期末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しています。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれています。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	890百万円	1,598百万円
営業外受取手形	15百万円	21百万円
支払手形	6百万円	-百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	12,290百万円	19,197百万円
預入期間が3ヶ月超の定期預金	△5百万円	-百万円
現金及び現金同等物	12,285百万円	19,197百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月20日 定時株主総会	普通株式	829	2,500	平成24年3月31日	平成24年6月21日	利益剰余金
平成24年11月2日 取締役会	普通株式	829	2,500	平成24年9月30日	平成24年12月7日	利益剰余金

(注) 平成24年10月1日を効力発生日とした普通株式1株を100株とする株式分割を行っているため、当該株式分割を考慮した場合、1株当たり配当額は25円となります。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月19日 定時株主総会	普通株式	829	25	平成25年3月31日	平成25年6月20日	利益剰余金
平成25年11月6日 取締役会	普通株式	829	25	平成25年9月30日	平成25年12月3日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しています。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しています。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しています。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しています。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(連結子会社との吸収合併)

(1) 取引の概要

① 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称：株式会社EXPRESS

事業の内容：フィットネスクラブ・スイミングクラブの企画及び経営等

② 企業結合日

平成25年10月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社EXPRESSを消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

フィールズ株式会社

⑤ その他取引の概要に関する事項

当社は、コンシューマプロダクツの事業の一環として、フィットネスクラブを展開しており、さらなる経営効率化を図るため、今般、福岡でフィットネスクラブを運営する株式会社EXPRESSを吸収合併するものです。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として処理しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次の通りです。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)	△20円41銭	36円98銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(百万円)	△677	1,227
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(百万円)	△677	1,227
普通株式の期中平均株式数(株)	33,183,800	33,183,800

- (注) 1. 平成24年8月23日開催の取締役会決議に基づき、平成24年10月1日付をもって、普通株式1株を100株に分割するとともに、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しました。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額を算定しています。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第3四半期連結累計期間は潜在株式が存在せず1株当たり四半期純損失を計上しているため、当第3四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第26期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）中間配当については、平成25年11月6日開催の取締役会において、平成25年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、次の通り中間配当を行うことを決議しました。

- | | |
|----------------------|------------|
| ① 配当の総額 | 829百万円 |
| ② 1株当たりの金額 | 25円 |
| ③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成25年12月3日 |